

2020 研究方法 D (実験研究法)

担当教官 柿本 敏克
学期・曜時限 前期 4-6 月集中 (教室は 101 教室ほか 106 教室、情報処理演習室も利用)
キーワード 実験, 実習, 社会行動, ゲーム

授業の概要

社会の中で人の行動を客観的に研究する際に用いられる基本的な方法のうち、実験法について、実習を通して習得させる。実験法の典型的なもののほか、そのバリエーションも取り上げ、それぞれの意義や相互の関係といった方法論的問題についても扱う。より高度な応用的内容は 3 年次の『社会心理学』で扱う。両方をあわせて履修することで、人の社会行動を客観的に研究する方法を深く把握することができる。

実験的な方法を用いて卒業研究を行なう意欲のあるものを歓迎する。

この授業の基礎となる科目

研究方法基礎論、心理学的コミュニケーション基礎論、心理学的コミュニケーション論ほか

テキスト/参考書

教科書：広瀬幸雄 (編著) 仮想世界ゲームから社会心理学を学ぶ (ナカニシヤ出版, 2011 年)
(他にも資料を配布する)

評価

毎回の出席と実習への参加は必須である。そのうえで、数回の報告書の提出状況および内容により評価する。

日程に注意

展開

- | | |
|--------------------------|---|
| 1) 第 1 回 ガイダンス 科目全体の概観 | 4 月 22 日 (水) 101 教室 17:40 集合 |
| 2) 第 2 回 相関関係と因果関係 | 4 月 25 日 (土) の集中実習
101 教室 12:40 開始 (時間厳守) |
| 第 3 回 実験のエッセンス | |
| 第 4 回 社会心理学の「実験」について | |
| 3) 第 5 回 集団の生産性 I | |
| 第 6 回 集団の生産性 II | 5 月 9 日 (土) の集中実習
101 教室 10:20 集合 (時間厳守)
(レポート提出は全学 Moodle で) |
| 第 7 回 集団の生産性 III | |
| 第 8 回 集団の生産性 IV | |
| 第 9 回 仮想世界ゲーム I (ルールの学習) | |
| 4) 第 10 回 仮想世界ゲーム II | |
| 第 11 回 仮想世界ゲーム III | 5 月 31 日 (日) の集中実習
101 教室 9:30 集合 (時間厳守)
(レポート提出は全学 Moodle で) |
| 第 12 回 仮想世界ゲーム IV | |
| 第 13 回 仮想世界ゲーム V | |
| 第 14 回 仮想世界ゲーム VI | |
| 第 15 回 仮想世界ゲーム VII | |

Zoom で参加できない受講希望者は必ずここに参加すること。

これ以降の実習内容は全学方針に従い変更の可能性があります。